学校番号	3005

令和８年度　工業科（建築科）

教科	工業科	科目	建築製図	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「建築設計製図」（実教出版）						
副教材等	「新しい建築の製図」（学芸出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現在の図面はCADが主流になっていますが、手で描くことはどの時代においても重要です。
製図の授業では、配布プリントを基にしたトレースではあるものの、単にトレースするだけでなく、エスキスなどのラフな図案から外観や内部空間を立体的に把握し、プランニングの不具合を発見しては修正しながら各種図面間の整合性を取りつつ、作図できる能力を身につけることが必要です。将来はそのような能力が身につけられるよう、鉄筋コンクリート造や鉄骨造などの大規模建築物を作図しながら学習してください。

2　学習の到達目標

・ドラフターを使った製図の基本を学び、鉄筋コンクリート造や鋼構造の比較的大きな建築物の作図の知識・技術を身につける。
・鉄筋コンクリート造や鋼構造の製図について思考・判断・表現できる。
・建築に関する基礎知識を総合的にまとめる能力を身につけ、主体的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築設計製図に関する学習や作図・課題演習を通して建築設計製図に関する基本的な概念を理解し、各種建築工事における設計図書の意義や役割、作図手順などの知識・技術を身につけている。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する諸問題を、建築設計製図における基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し、創意工夫した製図法で的確に表現する力を身につけている。	各種建築工事に使用される設計図書を作成することに興味・関心をもち、建築設計製図の意義や役割を理解しようとしている。諸問題の解決をめざして、主体的に学習に取り組むとともに建築技術者としての望ましい心構えや態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	鉄骨造オフィスビル	・平面図	a:平面図における設計条件や設計の要点を身につけ、正確で美しい線で描くことができる。 b:製図の基礎的・基本的な知識を習得して適切に思考・判断ができる。 c:知識の理解に意欲的に取り組み、考察しようとしている。	提出物 (製図)	提出物 (製図)	学習状況 提出物 (製図)
	鉄骨造オフィスビル	・断面図	a:立・断面図における設計条件や設計の要点を身につけ、正確で美しい線で描くことができる。 b:立・断面図の基礎的・基本的な知識を習得して適切に思考・判断できる。 c:立・断面図の知識の理解に意欲的に取り組み、考察しようとしている。	提出物 (製図)	提出物 (製図)	学習状況 提出物 (製図)
後期	鉄骨造オフィスビル	・立面図	a:立・断面図における設計条件や設計の要点を身につけ、正確で美しい線で描くことができる。 b:立・断面図の基礎的・基本的な知識を習得して適切に思考・判断できる。 c:立・断面図の知識の理解に意欲的に取り組み、考察しようとしている。	提出物 (製図)	提出物 (製図)	学習状況 提出物 (製図)
	住宅設計図	・各伏図 基礎伏図 小屋伏図 床伏図 天井伏図 屋根伏図	a:各図における設計条件や設計の要点を身につけ、正確で美しい線で描くことができる。 b:製図の基礎的・基本的な知識を習得して適切に思考・判断ができる。 c:知識の理解に意欲的に取り組み、考察しようとしている。	提出物 (製図)	提出物 (製図)	学習状況 提出物 (製図)

表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度